第１学年Ｄ組　英語科学習指導案

日　時：１０月２９日（木）
　　１３：００～１３：５０
場　所：１年Ｄ組教室
授業者：相津　嘉文

（１）単元名 Unit 7 An Online Tour of the U.K. Unit Activity

（２）ねらい

スペシャルガイドとして ALT の家族に高山をオンラインで案内する活動を通して、相手が高山を楽しめるように、伝える内容（事実と考え）を工夫（ガイドの条件）して表現することができる。

（３）本時における英語科で目指す生徒の姿

・相手に高山を楽しんでもらうという目的を意識し、相手の立場から自分たちの案内を見直し、より伝わる内容や表現方法を考え、改善しようとする姿

（４）展開（第８時／全９時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入	**○Small Talk** What are the good points in Takayama city? **○ゴールの確認** ・高山を訪れたいけどなかなか来られない ALT の家族のために、オンラインツアーのガイド役として高山を案内することを確認する	**【研究内容１−①】** ・「日本に来たいけどなかなか来ることができない ALT の家族」という設定をすることで、生徒が意欲的に伝えられるようにする。
見通しをもつ	**○Today's Goal** 高山に来ることができない ALT の家族を楽しませよう！	
課題を解決する	**○Activity 1** ・前時までの学習をもとに、オンラインツアーのガイド役として、高山を案内する活動に取り組む ・個人練習の時間を十分に確保したうえで、ペアやグループでの練習に入るようにする	**【研究内容１−②】** ・「スペシャルガイドの条件」と「伝える家族の状況」を設定することで、見方・考え方を働かせながら再構築できるようにする。
	○Improving Time ・ペアで発表を伝え合い、条件に沿って相互評価する **【スペシャルガイドの条件】** ①ALT の家族が知りたいことや、好きなことに触れている ②今の高山の様子が分かる情報が入っている ③自分の経験、考え、気持ちが入っている ④ALT の家族が「知らなかった！」と思うような、新しい情報が入っている ・相互評価をもとに、発表内容を見直し、再構築する	**【研究内容１−③】** ・Improving Time を位置付け、発表内容を見直した後、ALT に挑戦、ペアで確認、JTE と練習のように、個の実態に応じて学び方を選択できるようにする。
	○Activity 2 ・個の取組状況に応じて、再構築した内容を伝える練習に取り組む →ALT に挑戦、ペアで確認、JTE と練習、個人練習　等 ・最後に再度ペアで伝え合い、１回目の交流からよくなった点を伝え合う	**【研究内容２−①】** ・Activity を２回位置付け、ゴールの達成に向けて「内容」と「表現」が適切かを見届ける。
	○抽出生徒の発表 Hi, this is ○○. We're in Takayama. This is "Old Town." You can see many people. Look! Those people are eating "mitarashi dango." Dango is made from rice. It's the traditional food in Takayama. Many mitarashi dango are sweet, but Takayama's mitarashi dango has soy sauce.I think soy sauce dango is the best. You can enjoy a lot of delicious food in Takayama. (To father) ・ALT が選んだ生徒の発表を聞き、よさを共有する	**【研究内容２−②】** ・Improving Time において、ALT の要望に即している発表内容を捉え、価値付け全体に広める。 ・Unit Sheet を活用し、既習表現を駆使しながら伝えたい内容を表現できる手掛かりとする。
自己の学びを振り返る	**○Evaluation** ・ALT からの評価を聞く ・「本時できるようになったこと」「そのために工夫したこと」を確認し、Unit Sheet に記入する	**【評価規準】** **思考・判断・表現** **［話すこと［発表］（イ）］** ALT の家族がオンラインツアーで高山を楽しめるように、事実と考えを整理して高山を案内している。 **【評価方法】** 発話・授業内観察